

新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言が5月末まで延長となった。外出の自粛などが求められる中、子どもや家族に目を向けてみれば、児童虐待の潜在化(4月24日付朝刊岡山市民版)、DVの増加(同25日付朝刊社説)などは、世界的にも対策の在り方が問われている。山陽新聞での引き続きの問題提起を期待している。

山陽新聞を讀んで

川崎医療福祉大講師 直島克樹



誰も排除しない社会へ

さまざまなメディアが学力や生活リズムなどを問うているが、少し視点を交えるると違う側面も見えてくる。

例えば、学校に行きづ

らざるを抱えている理由はそれぞれであるが「学校へ行かなければならぬ」というシステムや価値が強くあり、特に小中学校においてはそれ以外の選択肢が極端に少ない中で、子どもたちや保護者たちは日々言葉にできない思いを抱えてきた。新型コロナウイルスに対するも、あらゆる形での参

さまざまなメディアが学力や生活リズムなどを問うているが、少し視点を交えるると違う側面も見えてくる。

「山陽新聞を讀んで」は月2回、日曜日に掲載します。